

福島第一原子力発電所の状況

2016年3月9日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (3/9 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.3 m ³ /h	14.8 °C	0.83 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	19.7 °C	4.26 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約 1.8 m ³ /h	17.3 °C	0.25 kPa g	A系： 0.05 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.06 vol%

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (3/9 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.7 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	24.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	22.1 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	11.7 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドランジンの注入を適宜実施。

<3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/9 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<4. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要な工事が完了。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 1号機タービン建屋の循環注水ラインとの切り離しに向けて、原子炉建屋地下からの滞留水移送を実施中。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- 2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から 24 時間連続運転に切り替え。
- 一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/2]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/9 9:56 より港湾内への排水を開始。なお、排水状況については、10:14

に漏えい等の異常がないことを確認。

- ・一時貯水タンクGの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/3]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/10 に海洋への排水を実施予定。

【地下水バイパスの状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ 1 の当社および第三者機関による分析結果[採取日 2/24]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/8 10:18～16:53 海洋への排水を実施。排水量は 1,618m³。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

＜最新のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

＜K排水路排水口のサンプリング実績＞

- ・今回の分析結果については、前回(3/7 採取)の分析結果より上昇しているが、降雨による一時的な上昇であると推定。引き続き、監視を継続していく。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

＜H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

＜地下水観測孔・海水サンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- ・3/1 に採取した地下貯水槽 No.1周辺の観測孔A11～17 の地下水を分析した結果、前回値(2/2 採取)の全ベータ放射能が ND (ND 値 22Bq/L)であったのに対し、最大で 200Bq/L に上昇していることを確認。なお、当該観測孔は3年前に地下貯水槽からの漏えいが確認された以降、NDだったが、全ベータ放射能の上昇が確認されたことから、漏えいの可能性も含めて調査を実施していく。

＜最新のサンプリング実績＞

- ・3/8 に採取した地下貯水槽観測孔の水(A1 からA19)における全ベータ放射能を分析した結果、前回(3/7 採取)の分析において、最大値(870Bq/L)を確認したA4観測孔については、430Bq/L に低下していることを確認。また、A10 観測孔は、前回値 24Bq/L から 270Bq/L に上昇していることを確認しているが、それ以外の観測孔については、前回値と比較して有意な変動は確認されていない。

また、地下貯水槽観測孔の東側(海側)に位置する海側観測孔から採取・分析した全ベータ放射能には、有意な変動は確認されていない。引き続き、地下貯水槽観測孔について監視を強化するとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査している。

以上